

講座「武蔵野デモクラシー」開催 野川とはけの自然を守ってきた活動も紹介

11月17日、はけの自然と文化をまもる会の企画による講座「武蔵野デモクラシー」が開催されました。

昨年創刊された「武蔵野樹林」の第2号で、武蔵野の自然と道路問題についてTBSラジオのプロデューサー・長谷川裕さんが対談形式でお話ししました。

3万年前の野川周辺に石器時代の人が暮らす先進地域、今でも東京全体の中心は、三鷹から立川あたりが中心、国分寺・小金井は東京の中心であることや、野川やはけの自然をどのように市民が行政と一緒に守ってきたかなど、会場からの発言と交えながらお話ししました。

小金井の道路問題については、はけの安田さんから、報告がありました。長谷川さんは、「武蔵野樹林」第2号で、小平の都市計画道路にも詳しい東京工業大教授の國分功一郎さんと対談し、小金井の道路にも言及し、「意見交換会の議事録を見ると」と述べて、「意見交換会と言いつながら、実態は完全に説明会なんだけども」とも。

この対談、第3号に「後編」。そのなかで、市民運動、行政の在り方、民主主義の問題にも触れて、「野川の道路問題に関して言えば、もともと建設を強く望んでいた人はそれほど多くな

いのではないか。」、「例えば野川の景観には経済的な価値もある、価値があるものは小金井市に残した方が良い」という話になれば、小金井市民として、普段野川に関心のない人でも関心を持つかもしれない。」と野川の自然の持つ重要性を指摘しています。

会場からも「野川は以前はどぶ川、犬が落ちたら「皮膚病になるところ、どぶ川の水は使えないので、地下水をくみ上げて使っていた。「はけの林をまもるために運動を始めた」と、はけと野川の自然保護活動に携わっている方からも発言がありました。

様々なところで、はけと野川が目玉されていることを実感しました。また、長谷川さんは「道路怪獣」の本も紹介、これを受けて、会場の一人の方が購入してくださいました。



<前回の世話人会以降の活動経過>

- 11月6日 市長選立候補予定者へのアンケート送付
- 11月7日 第45回世話人会 会報第44号発行
- 11月16日 立川3・3・30号市民の会総会出席
- 11月17日 講座「武蔵野デモクラシー」参加
- 11月21日 3・4・11号線住民の会世話人会
(10月10日 西岡市長と小池都知事の意見交換)
- 11月22日 会報特別号(市長選アンケート)発行
同 毎日新聞取材(市長選のため、道路問題把握とのこと)
- 11月23・24日 道路全国連 第45回全国交流集会(横浜)
- 12月11日 羽村駅西口裁判(東京高裁)
- 12月12日 東京外環裁判
同 第46回世話人会

<今後の日程>

- 12月21日 3・4・11住民の会世話人会
- 1月9日 第47回世話人会
- 1月15日 多摩地区道路連絡会

<他地域の裁判・集会など>

- 12月20日14時30分 リニア訴訟(103号法廷)
- 12月21日14時 東京外環道訴訟提訴2周年集会(武蔵

野芸能劇場)

- 12月25日14時 品川29号線訴訟(103号法廷)
- 2月3日11時30分 十条西口線裁判(103号法廷)
- 2月13日14時 十条73号線訴訟(103号法廷)
- 2月27日13時15分 世田谷放射23号線判決言渡し(419号法廷)

東京外環道訴訟 提訴2周年集会

12月21日(土) 午後2時~4時
会場 武蔵野芸能劇場小ホール(三鷹駅北口すぐ)
対談: 街や自然をぶち壊す道路計画を
どうしたら止められるか?

山本俊明さん
(ジャーナリスト)
岡田光生さん(原告)
報告: 弁護士 竹内更一
さん、遠藤憲一さん



主催 東京外環道を支える会

東京都の「都市計画道路の在り方（案）」パブコメから 小金井の道路に関する意見 10本の未整備の都市計画道路は必要なし意見が大多数

東京都が7月から8月にかけて実施した都内の都市計画道路のうち、未整備路線の今後の在り方について、パブコメで意見募集を行いました。パブコメの結果と意見に対する東京都の考え方が11月27日に公表されました。

東京都は項目別に下記のような意見件数と記しています。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1) 基本方針全般について (295 件) | 4) 住民参加・情報公開について (127 件) |
| 2) 検討対象について (135 件) | 5) 検証結果について (251 件) |
| 3) 具体的な検証項目について (44 件) | 6) その他 (260 件) |

そのうち、小金井にかかわる意見をお知らせします。

ご覧の通り、ほとんどの意見が、小金井に自然破壊、街壊しの道路はいらないというものです。

全文は道路市民の会の下記ホームページをご覧ください。

<https://koganeiroad.jimdo.com/東京都-東京都議会-国交省/>

小金井3・1・6号線

(五日市街道)

・小金井3・1・6号線は現在の五日市道路を46m以上に拡幅することになっているが、これでは玉川上水を暗渠化するようなもの、国の史跡に指定されているというのに、このまま変更も廃止もしないというのも、まじめに検証した結果とは思われない証拠。

・玉川上水など自然環境、景観に影響を与える区間は、その必要性を精査し、必要であるならば、五日市街道の拡幅など別の代替案を考えるべきです

・玉川上水南側に走る上水桜通りは、拡幅の必要は全くありません

・小金井3・1・6号線の計画を進める理由を明確にし、住民に周知していただきたいと思えます

小金井3・4・1号線

(連雀通りの一部)

・小金井3・4・1号線は不要な路線だ。この計画には断固反対する

・今回の追加整備の小金井3・4・1号線も、国分寺市内の延伸は都計画にはなく、小金井市内のみ延伸しても意味がない

・小金井3・4・1号線新小金井街道より西側の路線は廃止すべき

小金井3・4・3号線

(新小金井駅から西側の住宅地)

・多くの土地・家屋などを莫大な金を使って壊してまで小金井3・4・3号線が必要なことが判らない

・小金井3・4・3号線は農工大通りと連雀通りがあるのにその間に16mの東西道路など必要ありません

・小金井3・4・3号線は、道路間隔が短い並行路線であり、それらは必要性がなく無駄な投資です

・小金井に建設予定の小金井3・4・3号線計画は、貴重な自然環境を破壊し、財産権および移住移転の自由を脅かしている計画であり、正当性を感じられません。見直しを求めます

・小金井3・4・3号線を造るよりも、連雀通りを拡幅する方が現実的

小金井3・4・8号線

(東小金井駅西側の住宅地)

・小金井3・4・8号線について、個々の生活を犠牲にしてまで必要のある道路とは思えません

小金井3・4・8号線は小学生の通学路です。

・小金井3・4・8号線の必要性をまったく感じない

・小金井3・4・8号線の計画線路上にある桜並木は、「(新小金井)駅前」の桜のトンネルとして愛されてやまない日常風景となっており、昔の道路計画を無計画に乱暴に進めてし

まったとなればこれはもう街として未代までの恥です

小金井3・4・10号線

(東小金井駅南のくりやま通り)

・東小金井駅南口側の商店街に大きな道路はいりません

・小金井3・4・10号線は、道路間隔が短い並行路線であり、それらは必要性がなく無駄な投資です

・小金井に建設予定の小金井3・4・10号線計画は、貴重な自然環境を破壊し、財産権および移住移転の自由を脅かしている計画であり、正当性を感じられません。見直しを求めます。

小金井3・4・12号線

(第一小学校前の通りで連雀通り

から南と北大通りから北)

・小金井3・4・12号線は、実現不可能なので、計画から削除すべきです

・小金井3・4・12号線の再考、再検討し、中止を求めたい

小金井3・4・14号線

(小金井街道の一部)

・小金井3・4・14号線を新設する理由が理解できません

・小金井3・4・14号線について、見直すべきと考えます

小金井3・4・15号線

(貫井南町)

・小金井3・4・15号線は、実現不可能なので、計画から削除すべきです。

「きめてあったから」と押しつけてくるのは全く理解できないだけでなく税金の無駄使いです

小金井市内の道路全般

・小金井市の都市計画道路 10 路線について見直しを行うべき

・小金井市内の未整備 10 路線について、道路整備に該当関係する住民への事前の説明、意見の収集もなく決定されたことに反対し、見直しを求めます

・小金井市内の都市計画道路は住宅街で道路間隔が短い並行路線も多く、それらは必要性が低く無駄な投資である

・小金井市都市計画道路は 50 年以

上前に決定した道路です再検討も住民への説明もなく小金井市都市計画マスタープランに記載された道路は、小金井3・4・1号線及び小金井3・4・11号線を含め、我々住民に必要ありません

・小金井市に残っている10箇所の計画道路について。50年以上前の計画道路設定前と現在では大きく環境が変わりました。都市ネットワークの充実などという計画はその主旨は住民のためのものではないと考えます

・小金井市内の都市計画道路は、地域が未開発であった計画当時から数十年を経ており、その建設強行は今や住宅が建ち並び、自然と調和した緑豊かな生活の場を分断、破壊するものであり、都市計画道路の推進見直しを強く求めたい

・小金井市内の都市整備計画道路は、地域が未開発であった計画当時とは

違い、住宅が多く作られつつある昨今、道路間隔が短い並行路線も多く、見直しをご検討願いたい

・50年前に策定された計画道路が、なぜ今必要なのか疑問を強く感じる。人口の変わらない小金井市に、ハゲと野川という貴重な自然を壊してまで道路が必要なのか。

・道路が狭く日々危険を感じながら小金井市で生活しています。次の世代のためにもなるべく早く整備を行って欲しいと切に願っています。自然が多い小金井の良さを活かした道路を是非早急に作って下さい

・小金井は道路整備が遅れていて狭くて歩道のない道を車、自転車、歩行者が使っています。非常に危険であり、小金井市の未整備の都市計画道路は全て見直さないことは、とても良いことだと思っています。



五日市街道を拡幅する計画に異議 未整備の都市計画道路の説明会

未整備の都市計画道路に関する説明会が坂井議員、岸田議員、小林議員の3人の主催で上之原会館で11月10日開催されました。

小金井市の都市整備部から市内の都市計画道路の東京都と小金井市で行った検証について説明があり、未整備の路線はすべて、都市計画道路として必要なもので、残すことが説明されました。

その後、出席者から、五日市街道を拡幅して玉川上水の両側に道路をつくることに対して、「玉川上水も桜も文化財、道路が

出来たら、誰が桜を愛でるのか」「北側の道路を拡幅すると北側の桜を切ることにする」と意見と質問。

「家がどれだけ取られるのかわからない、どうやったら分かるの」「昔より車はずつと減っている、若い人も車持っていない。拡幅して玉川上水残すより、今のままがいい」「次の(2026年)の優先整備を決めるとき、五日市街道もはいるのか」など、市民から不安と都の進め方への疑問がだされました。

道路住民運動全国連絡会第45回全国交流会

11月23日と24日、横浜で「道路住民運動全国連絡会第45回全国交流会」が開催されました。

1日目は、建設中の横浜環状南線の現場

を見学、その後、横浜の道路や岡山

の道路について報告。

2日目は、千葉の外環道、長野の中野横断道、名古屋の環

状2号線などから報告。

記念講演が慶応大学名誉教授の川村晃生さんから、「巨大開発は人に何をもちたか」と題して、人間社会がどのように変わってきたかを福沢諭吉、夏目漱石から現在までの流れを俯瞰しながら、自然環境を守っていくことの大切さを強調しました。

川村晃生さん著の「見え始めた終末 『文明盲信』のゆくえ」、で歴史から学ぶ大切さを述べています。「古来、歌人たちが愛し、くり返し歌に詠まれてきた景勝地・歌枕が、近年その景観に大きな損傷を蒙り始めている」と、長野自動車道が富士の景観を奪い破壊している例等を挙げています。

小金井のはけと野川の自然も、「かつては、人々が集う憩いの場だった」などとならないようにしたい。

(注…「見え始めた終末」三弥井書店)

